

【概要】

住宅ローン利用者の実態調査

【住宅ローン利用予定者調査(2024年4月調査)】

I 調査の概要

今後5年以内に住宅ローンを利用して住宅を取得する計画がある方を対象に、住宅取得に向けた意識や希望する住宅ローン等について調査を実施し、その結果をとりまとめたものです。

(参考) 調査実施時期：2024年4月22日～5月1日、回答数：1,500件

II 調査結果の主なポイント

〈〉は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 住宅取得時に「耐震性能」を重視すると回答した割合が大きく増加 〈p.5〉

〈住宅取得時に重視するもの〉

「価格費用」：68.2% (2023年10月調査 70.8%)

「間取り」：32.2% (同 32.6%)

「立地」：29.8% (同 30.9%)

「耐震性能」：28.3% (同 21.4%) 等

2 コストアップしても省エネ住宅とすることに、約8割が関心を持っている 〈p.6〉

〈省エネ住宅に関する関心〉

「関心あり」：78.6%

「特に関心はない」：21.4%

3 「今が住宅の買い時」と思う理由は、「住宅ローン金利が上がりそうだから」が最も多い 〈p.8〉

〈買い時と思う理由〉

「住宅ローン金利が上がりそうだから」：47.6%

「住宅ローン金利が低水準だから」：43.7%

「住宅価格が値上がりしそうだから」：35.2% 等

4 「希望する金利タイプ」は、「変動型」が約4割、「固定期間選択型」が約3割、「全期間固定型」が約3割 〈p.13〉

〈希望する住宅ローンの金利タイプ〉

「変動型」：40.1% (2023年10月調査 39.7%)

「固定期間選択型」：33.6% (同 33.7%)

「全期間固定型」：26.3% (同 26.5%)

5 「今後1年間の住宅ローン金利」について、約6割が「現状よりも上昇する」と考えており、前回調査から6.8ポイント増加 <p.15>

<今後1年間の住宅ローン金利の見通し>

「現状よりも上昇する」：60.1% (2023年10月調査53.3%)

「ほとんど変わらない」：18.8% (同20.6%)

「現状よりも低下する」：6.9% (同8.5%)

「見当がつかない」：14.3% (同17.6%)

本調査結果の詳細は、住宅金融支援機構ホームページ(https://www.jhf.go.jp/about/research/loan_user.html)に掲載